

水のかさ

●水のかさをはかるう



コップで
5はい
あったよ。

ぼくのは
コップで
6ばいだよ。

どちらが
たくさん
入るかな。

あしたは遠足です。そよかさんと
けいとさんは、もって行く水とうに入
水のかさについて、電話で話して
います。



資料①の1
2年 水のかさ

1 かさのくらべ方

1 2人の水とうに入る水のかさを
くらべましょう。



そよか



コップの
何ばい分て
しらべたんだね。



けいと



ひろと

① どちらの方が多いと
いえるでしょうか。



ななみ

コップ 6ばい分の
方が多いかな。

でも、コップの
大きさが…。



だいき

② 同じコップをつかって
しらべてみました。
どちらの方が多いと
いえるでしょうか。



そよか



けいと



同じコップで
くらべると
わかりやすいね。

1. 「水のかさ」このかさという言葉がまず理解しにくい。



水でできたかさ 水を入れたかさ 水の中のかさ

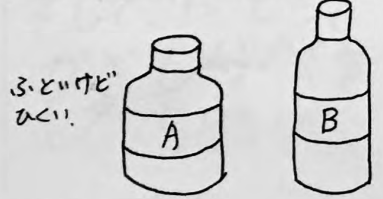
2. 長さのように計る道具が筆箱の中にも入らないし形もつかみにくい。

どっちの水筒に水がたくさん入っているかくらべてみよう。

くらべが
考えず。

- 教科書のねらい⇒くらべにくい⇒同じ入れ物の高さでくらべる。⇒
- 同じ入れ物何はいい分かでくらべる⇒1dlマスでくらべる。

① うーん見ただけではくらべられないなあ。



ふといけど
広い。

細いけど
高い。

予想は半々。
どうやってくらべよう。

② そんなのかんたんや。飲んだらわかる。

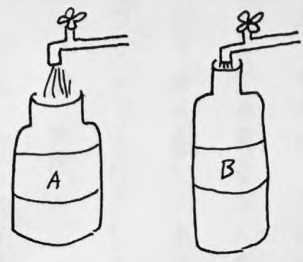


～みんなの意見～

- 一人で飲んだら、2本目が多く感じるんじゃないかなあ？
- 二人で飲んだら、どちらが多いかわからないんじゃないかなあ？

③ 同時に水道から水を入れて、先きにあふれた方が少ない。

～ハルニぼして

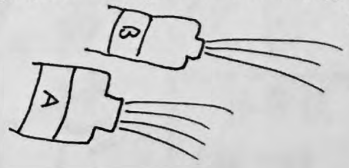
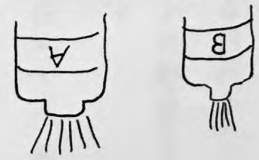


～みんなの意見～

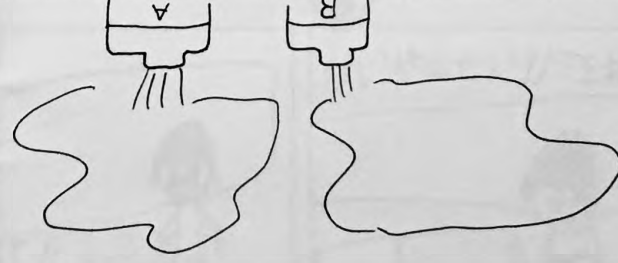
- いっしょに水道の水が出せるかなあ？
- 水道から同じ水の量が出せるかなあ？
- あ、という間に入ったらどうする。

④ 同時に、こぼしたらいい。

④ 下向きにこぼして長くこぼれている方が多い。④ おしこみみたいにこぼして遠くにとぶ方が多い。



⑤ かわいた所に水をこぼして、水の広がりでくらべたらいい。

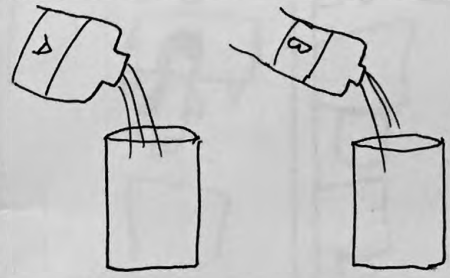


～みんなの意見～

- それがいい。
- はっきりわかる。
- 晴れている日やらないといけない。

一番人気

⑥ 水とちがうコップにうつしたら、目で見てわかる。



～みんなの意見～

- とうめいの入れものならわかるかも。
- その入れものは、同じ入れものじゃあ、と。
- 入れてて、もしあふれたらどうする？

そんな入れもの
ある？

意外に納得しない



小学校
1年1組
年
10/26
No.

れんらく

②バスの運足です。バスに
すぐ弱い人はれんらく
下さい。
③あすの下校時40分
です。

みんなとリはがせに なりさうです

とりの本が18さつもそろいました。教室には
教科書にのっている。アカゲラとたんちようぶるの
絵も奥物大でそろい。アカゲラの葉の大きいニとや
140枚もの背たけのあるたんちようぶるにおどろいて
います。いちばん關心のあるペリカンの勉強をす
るのに、今からワクワクしています。
それにしても 自然のしくみのすばらしさ、不思議
さには、感動させられます。

先日の算数の時間のとき
「せんすうのがかせ」で
「しっぱいのまき」



「号車」はかるコップを「つたけおめ」
(お) と何度も言っただけ...



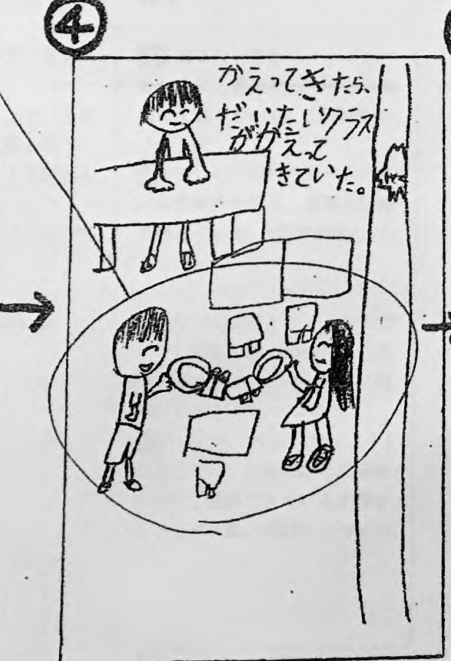
みんなは「レンレン」出発



「えー」みんなとれはがせから...
みんなは「れんらく」
みんなは「れんらく」



「えー」みんなとれはがせから...
みんなは「れんらく」



「えー」みんなとれはがせから...
みんなは「れんらく」



それぞれ自分のコップを「つたけおめ」

※みんなのレナクたいは、おはなしです。れんらく帳にサイン下さい。

● 学習指導計画

東京書籍 指導書

時	学習活動	評価規準と評価方法
1	1 学習の見通しを立てる。 ・教材文の内容を想像し、働く犬について知っていることを話し合う。 ・リーフレットの例を見て、学習課題について確認し、学習計画を立てる。	聞 働く犬に関心を持ち、「はたらく犬リーフレット」を作ることに意欲を持って取り組もうとしている。(行動観察・発言)
2 6	2 教材文を読んで、内容を要約してリーフレットにまとめていく。 ・学習課題を踏まえ、教材文の文章構成を確かめ、リーフレットの形式やそれぞれのページに書く内容を大まかに考える。 ① 訓練の順序や、犬の特性と盲導犬の仕事との関係を押さえながら、盲導犬の訓練の様子を読み取る。 ・段落のまとまりごとに、文章の要点や細かい点に注目し、内容を分かりやすく要約してリーフレットにまとめる。 ※教材文と並行して、働く犬についての本や資料を読む。	読 だいたいな言葉や文を手がかりに、文章の組み立てと、盲導犬の定義や訓練の内容を読み取っている。(ノート・発言) 読 文章の要点や細かい点に注意し、言葉を補ったり書き換えたりしながら内容を要約してまとめている。(リーフレット・ノート) 言 教材文を読んで、指示語や接続語の役割を理解している。(発言・ノート)
7 9	3 働く犬について、もっと知りたいと思ったことを、本や資料を読んで調べる。 ・盲導犬についてもっと知りたいと思ったことや、ほかの働く犬について調べたいと思ったことを話し合う。 教科書P 60「目次やさくいんを活用しよう」を確認し、百科事典や図鑑での調べ方を学習する。 ・本や資料を読んで、調べて分かったことをノートやメモに書き出して記録する。	読 知りたい事柄について調べるために、関連する内容の本を選んで読んでいる。(行動観察・ノート) 書 知りたい事柄を調べるために本や資料を読み、必要な情報を集めている。(行動観察・ノート)
10 12	4 調べたことを要約してリーフレットを完成させ、互いに紹介し合い、感想を交流する。 ・調べて分かったことを要約し、リーフレットの残りのページに書く。 ・リーフレットを完成させ、グループになって互いのリーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 5 単元の学習を振り返る。 ・紹介するためにだいたいな言葉や文を押さえて要約することができたか、文章を要約するためにはどのようなことに気をつけなければならないかを振り返り、まとめる。	読 調べて分かったことを整理して、紹介するためにだいたいな言葉や文を落とさないように要約している。(リーフレット) 読 「はたらく犬リーフレット」を読み合い、目的に応じて分かりやすく要約できているか確かめ合っている。(発言・ノート)

国語 もうどう犬の訓練(説明文)の単元計画

1. 単元目標

- ① だいたいな言葉や文を見つけながら文章を読み取り、書かれていることを要約することができる。
- ② 総合的な時間などを活用し、調べたことの要点をリーフレットにまとめる。

2. 単元計画

全12時間(うち、8・9・10の3時間は、図書1時間・総合的な学習の時間2時間)

節	時	ページ	学習活動	留意点
1	1	50～55	全文読み取り・段落分け・学習計画・漢字	朝の時間に漢字
2	2	50～51	段落1 大事な文や言葉を見つけながら段落を読み取る。	一つひとつの言葉を大切に読み取る。
	3	51～52	段落2 段落を読み取った後、段落の要約の仕方を学ぶ	要約の仕方
	4	52～54	段落3 段落を読み取った後、段落の内容を要約する。	要約できているか
	5	54～55	段落5 段落を読み取った後、段落の内容を要約する。	要約できているか
	6	56～57 50～55	「手引き」を参考に、全文の要約をまとめる。盲導犬についてもっと知りたいことをまとめる。盲導犬の本を紹介する(4・5冊は準備しておく)。盲導犬について調べられる人は調べて要約しておいて下さい。	盲導犬について調べる方法: クラスの本・ネットの活用・図書館の本。ネット環境のない子どもへの配慮。
3	7	58～59	盲導犬について分かったことの交流。リーフレット作りについて学ぶ。	調べ学習の計画 市立図書館から働く犬のシリーズを4セット借りる。クラス持ち回り。
	8	調べ学習	働く犬について本や資料で調べ、要点をまとめ、工夫してリーフレットをつくる。	(図書1時間) 個人差に留意。助け合う。
	9	同上	同上	(総合1時間)
	10	リーフレット交流	リーフレットを紹介しあい、感想を交流。	(総合1時間) ・班の中で交流 ・他の班と交流
	11	同上 漢字復習	同上 この単元に出てきた進出漢字など復習。	同上
4	12		テスト。終わった人はリーフレットを読む。	テスト直し朝の勉強で。

資料 ②

～ 参観授業を楽しく ～

*参観授業のポイント

- ① たくさんの子どもたちが活躍できる授業にする。机間指導を入れること。
- ② いろいろな学習活動がある（読む・書く・発表する・話し合うなど）。
- ③ 時間を守る。他の兄弟姉妹の参観授業もあるので、始まりと終わりをを守る。
- ④ 板書（黒板）計画をきちんと立てておく。途中から参観する保護者はまず黒板を見る。

*参観授業の始まりまでに

- ① 準備物は朝確認。（綺麗な黒板・チョーク・盲導犬のカラー写真・**犬**のカードなど）
- ② 子どもたちには「いつもの昼休みより5分早く帰っておいで」と連絡しておく。
- ③ 必ず昼休みにトイレに行っておくように。お互いに声かけあって。

*本時の目標

- ① 盲導犬は働く犬の仲間であることを読み取らせる。
- ② 犬の話がたくさんでき、どの子も活躍できて楽しかったと思える授業にする。

板書 ・写真 ・色チョーク ・ 犬 カード など活用	安全に歩けるように助ける犬 目の不自由な人たちが街を もうどう犬↓盲導犬 *働く犬 けいさつ犬・りょう犬 もうどう犬・ *ペットとして チワワ・プードル・ *盲導犬の写真 吉原順平	*働く犬 かしこく・活発 人間と仲良くなれる ◎ほかの仲良くなれる動物 ねこ・牛・馬・メダカ 金魚・ハムスター	もうどう犬の訓練 吉原順平
時刻など	先生の発問など ●中心質問	子どもたちの反応・予想されること・留意点	
導入 (1:45)	・今日から「もうどう犬の訓練」の勉強をしていきましょう。タイトルを書く ・写真を貼り、先生は駅で盲導犬に会いました。皆さんは会ったことある？	→ノートの新しいページにタイトルを書く。 →（自由発言） ・私はスーパーの前であったことがある。 ・テレビで見たことがある。	
展開(1) (1:48)	・まず1行目を読んでください。 ・犬のことについてどのように書いてありますか。 ・「活発」という言葉の意味は？ ●「人間と仲良くなれる動物」って他に知っている動物がいますか。隣の人と話し合って発表してください。 ・よく知っていましたね。そのような動	→後の座席の子どもを当てる。 →かしこい・活発・人間と仲良くなれる。 →元気が良い・よく動く・ぼくみたい。（自由に） →ねこ・馬・牛・金魚・ハムスター・メダカ イルカ・インコ・など（たくさん発表する） ノートに書きながら友達の見聞を聞く。 →いっしょに街を歩いたり、一緒に部屋で暮らした	

	物と犬との違いはわかりますか。 ・そうですね。犬は人間とともに暮らすことのできる動物ですね。	りできない。イルカはむり。ハトもインコもむり。猫は暮らせるけど、やっぱり無理かな。もっと意見が出るかもしれない。（自由に）
展開(2) (1:55)	・では次の3行を読んでください。 ・犬にはどんな犬がいると書いてありましたか。 ● <u>ペットとして可愛がられる犬の種類</u> で知っている名前がありますか。班で話し合ってみてください。机間指導 ・いろんな犬がいますね。おうちで犬を飼っている人もいますね。 ● <u>はたらく犬ではどんな種類を知っていますか。班で話し合ってみて、発表してください。机間指導</u> ・よく知っていますね。それぞれにどんなお仕事をするのか。	→前の座席の子を当てる。 →ペットとしての犬と、はたらく犬です。 →チワワ・プードル・秋田犬・柴犬・ダックスフンドマルチーズ（意外に知っていることが多い。ここではどの種類が盲導犬にふさわしいかなどは触れない。調べ学習で出てくると考えられる） →口々に意見が出る。 →けいさつ犬・まやく犬・救助犬・ボランティア犬 りょう犬・牧場の犬・そり犬・介助犬（まだまだ出てくる可能性がある） →どんな仕事か、わかりにくい犬については、また調べてみようねと次の学習につなぐ。
展開(3) (2:20)	・では最後の段落を読んでください。 ● <u>盲導犬はどんなお仕事をしますか。</u> ・そうですね。もうどう犬を漢字で書きます。「盲導犬」目の不自由な人を導く犬、という意味で書くのですね。	→まだ発表していない子どもを当てる。 →目の不自由な人たちが街を安全に歩けるように目の代わりになって助ける犬です。ノート。 →「盲導犬」の漢字は習っていないのでゆっくり大きく書く。子どもたちは漢字で書きたがる。
まとめ (2:25)	・では今日勉強したところをみんなで読みましょう。机間指導 ・2番目の段落に「はたらく犬は、動物としての特徴を生かしたり、おさえたりして訓練された犬です。」と書いてありましたね。明日からは訓練の内容や様子を勉強していきましょう。	→ゆっくり・しっかり読めるよう声かけする。 *時間があればノート整理の確認。 *子どもたちみんなの顔を見て次時予告をゆっくり伝える。
(2:30)	これで終わります。（時間を守る）	

おうちの方にも聞こえるように連絡

- ・今日はこの後懇談会のためすぐに下校します。連絡帳はもう書きましたね。
- ・2時40分から3時40分ごろまでクラス懇談です。ぜひご参加ください。

資料③

